

都市計画たより

平成30年度版

平成 30 年度 都市計画検討グループの活動報告

はじめに

日頃は、都市計画検討グループ活動に対してご理解・ご協力を頂き、ありがとうございます。

本年度の都市計画検討グループでは、4月から会員の募集、都市計画委員会の活動が始まり、会員の皆様には6月の合同ワーキンググループ（以下WG）、7月の都市計画検討グループ総会、11、12月の各WG企画に対し、業務ご多忙の中、多くの会員の皆様にご参加いただきました。

会員の皆様のご協力・ご参加により、平成30年度の活動も無事終了しましたこと、心より感謝しております。

今年度活動を「都市計画たより」としてとりまとめましたので、ご高覧頂くとともに、来年度の活動の参考としていただければ幸いです。

来年度も、皆様からの要望を踏まえて、「仕事の役に立つ魅力的な企画」を委員一同、力を合わせ検討していく予定です。奮ってのご参加をお待ちしております。引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

都市計画委員会

平成 30 年度 都市計画検討グループの活動内容

平成30年度は、下記の通り「会員参加型企画」及び委員会活動を実施しました。

1. 会員参加型企画

●合同WG（6/20）	：49名（17社）	・・・2P
●都市計画委員会総会（7/5）	：79名（20社）	・・・6P
●都市整備WG講習会（11/19）	：30名（14社）	・・・9P
●交通WG講習会（12/4）	：38名（20社）	・・・10P
●アウトスクーフWG講習・見学会（11/1）	：34名（16社）	・・・11P

2. 都市計画委員の活動

- 業務技術発表会運営補助（10月）
- 建設技術フェア2018in中部 学生交流ひろば対応
- 建設コンサルタントフェア2018in中部：運営補助
- 愛知県震災復興都市計画模擬訓練：アドバイザー派遣（8月）
- 愛知県事前復興に関する勉強会への参加（8月、10月）
- 愛知県事前復興まちづくり研修会への参加（10月）
- 都市計画委員会：毎月開催：（全8回、4月～12月）

平成 30 年度 都市計画検討グループ WG活動に関する合同意見交換会 報告

開催日程等

日 時：平成 30 年 6 月 20 日（水） 17:00～20:00

場 所：IMY ホール 名古屋市東区葵 3-7-14

参加者：49 名（都市 WG：13 名、交通 WG15 名、ランドスケープ WG：6 名）、委員 15 名

合同 WG の意見を踏まえ、平成 30 年度の各 WG 活動（見学会、講習会等）について、検討グループメンバーによる意見交換を行い、以下の方針を決定しました。

(1) 都市整備WGにおける意見交換内容と活動方針

<p>テーマと 発言要旨</p>	<p><u>【参加者の興味のあるテーマ】</u> ①人口減少・スポンジ化 ②都市近郊のあり方 ③官民連携 ④住民参加</p> <p><u>【テーマについての主な意見等(具体的な項目・キーワード)】</u> ①人口減少・スポンジ化に対応したまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・公共空間の活用・民営化 ・公共施設マネジメント（PRE 戦略）、公共公益施設の集約化 ・空き家対策→空き地・空き家等マッチング（山形つるおかランドバンク） ・空き地等の暫定的な活用→可動式・簡易建築の取り組み （佐賀わいわいコンテナ、熊本モバイルハウス） ・公共交通（バス・タクシー・自動運転）や自転車を活用したまちづくり ・スマートシティ（ICT、IOT 化） ②都市近郊のあり方 <ul style="list-style-type: none"> ・川（河川敷等）を活用したまちづくり ・今後の生産緑地のあり方 ③官民連携 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども（子育て世代）が集いやすい空間形成、Park-PFI ・PPP/PFI（官民連携） ④住民参加 <ul style="list-style-type: none"> ・住民との合意形成手法、住民参加型まちづくり ・エリアマネジメント ○その他のテーマ 福祉に配慮したまちづくり、古いまちなみの保全活用、防災・減災</p>
<p>WG 活動方針</p>	<p>意見の多かった都市のスポンジ化対策や空き家対策を含め、<u>都市のマネジメント・維持管理（行政に頼らないまち育て、コンサルタントが担うべき役割）</u>をテーマに見学会や講演会を開催する。</p>

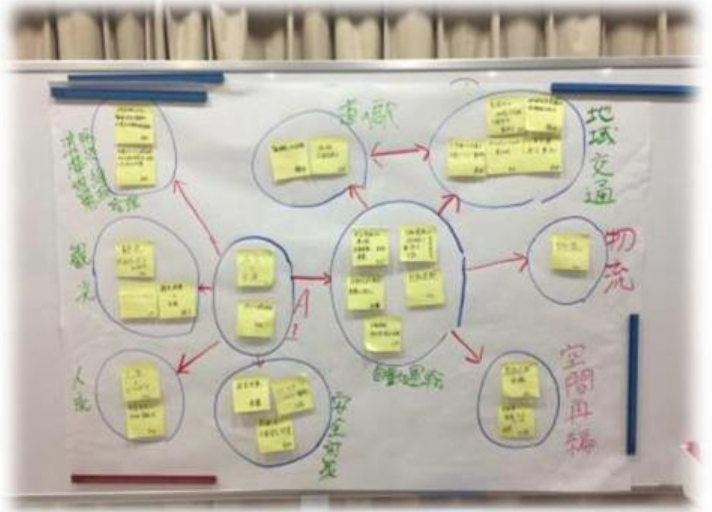
(2) 交通WGにおける意見交換内容と活動方針

<p>テーマと 発言要旨</p>	<p><u>【参加者の興味のあるテーマ】</u> ①観光 ②安全 ③安心、維持管理 ④情報 ⑤自動化・効率化 ⑥地域活性 ⑦交通結節点・空間</p> <hr/> <p><u>【テーマについての主な意見等(具体的な項目・キーワード)】</u> ①観光 ・観光政策・動向、観光を主体とした公共交通、サイクルツーリズム、インバウンド交通 ②安全 ・生活道路、自転車、ゾーン30、逆走対策、高齢者の対策、バリアフリー ③安心・維持管理 ・災害時の支援物資輸送ルート、耐震対策、維持管理、老朽化・更新対策 ④情報 ・ビッグデータ、ETC2.0、人流データ ⑤自動化・効率化 ・AI、自動運転、生産性向上、高度な物流 ⑥地域活性 ・過疎地、地域の公共交通、公共交通のサービスレベル、にぎわい創出 ⑦交通結節点・空間 ・リニア、パーク&ライド、道の駅、道路空間再編、自転車道</p>
<p>WG 活動方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多数提案のあったテーマ候補の中で、「⑦交通結節点・空間」における「道の駅」に対して関心が高い状況であった。 ・ 道の駅は、次に関心の高かった「④情報」「⑤自動化・効率化」などの先進技術系の導入事例があること、地域活性の拠点としての活用事例があることなど、各テーマと関連性を保て、具体的な対象（活動）がイメージしやすいことから、WG活動候補として選択することとした。 ・ 以上を踏まえ、本年度の交通WGは上記の①～⑥のテーマに関連する活動のある「道の駅」事例の見学または関係者に講演していただくことを基本とした活動を行う方針とする。

(3) ランドスケープWGにおける意見交換内容と活動方針

<p>テーマと 発言要旨</p>	<p><u>【参加者の興味のあるテーマ】</u> ①ランドスケープデザイン ②民間活力 ③リノベーション ④歴史・景観 ⑤市民協働 ⑥防災 ⑦ワークショップ</p>
	<p><u>【テーマについての主な意見等(具体的な項目・キーワード)】</u> ①-1 ランドスケープデザイン [講習会] ・ランドスケープデザインの考え方(岐阜県立森林文化アカデミー 学長 涌井史郎 氏、岐阜県立 国際園芸アカデミー 学長 今西良共 氏) ①-2 ランドスケープデザイン [見学会・講習会] ・最新事例：[人気] 有馬富士公園、[特徴的] 天理駅前広場、レゴランド、 [遺跡活用・工事中] 安満遺跡公園、[景観・まちづくり] うめきたプロジェクト(うめきたUMEDA I ガーデン) ②民間活力 [見学会・講習会] ・Park-PFI、地域活性化に寄与する民活事例 ・最新事例：南池袋公園、名城公園 ③リノベーション [見学会・講習会] ・今後求められる都市公園のあり方 ・集客力、市民ニーズ、人口減少への対応策(公園ストック再編) ④歴史・景観 [見学会・講習会] ・住民が誇る伝統建築やまちなみ ・周辺の象徴的な景観を活用した公園 ・最新事例：名城公園(本丸御殿、トナリノ、金シャチ横丁) ⑤市民協働 [見学会・講習会] ・市民協働の成功事例(参画から維持管理まで) ⑥防災 [見学会・講習会] ・最新の防災機能や他にはないアイデアの防災機能を取り入れた公園 ・現在普及している防災ファニチャー(かまどベンチ等)の評判 ⑦ワークショップ [講習会] ・ワークショップのノウハウを学ぶ：studio-L(有馬富士公園パークマサノ内)</p>
<p>WG 活動方針</p>	<p>・WGの総意として決定に至っていないが、<u>近年、話題となっている事例や興味のあるものをテーマ</u>に講習会や現地見学会を開催する。</p>

合同WGの風景



平成 30 年度 都市計画検討グループ総会 報告

I. 開催日程等

日 時：平成 30 年 7 月 5 日（木）14:00～19:30

場 所：I・M・Y 6階第3会議室

参加者：総会参加者 79 名（20 社）

II. 総会の概要

1. 開会 【司会：山本委員長】
2. 技術部副部長挨拶 【中村副部長】
3. 平成30年度委員の紹介 【福島委員長】
4. 平成29年度活動報告と平成30年度活動計画（案） 【福島委員長】
5. 平成30年度各WG活動方針 【各委員】
6. 平成29年度決算報告と平成30年度予算（案）の説明 【河村副委員長】
7. 講演会 『立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の連動はどうすればできるか』
名古屋大学大学院環境学研究科 加藤 博和教授
8. 意見交換会 同館9階 IMYホール
9. 閉会

平成 30 年度の活動方針

テーマ：都市計画を取り巻く動き、新しい情報の提供

活動方法：WG活動を主体にニーズに対応した見学会、講習会等の開催と交流の深化

合同WG：他の技術検討グループとの合同開催

都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」とする。技術の研鑽を目標にして各グループ部員が集まり、お互いの交流の輪が広がる場づくり、学識経験者、官公庁、他の団体とも積極的に交流の場づくりができるように進める。

平成30年度は、平成29年度同様WG主体の活動に重点を置き活動計画を立案する。また、社会貢献活動にも積極的に参加する。

※平成 30 年度 都市計画検討グループの総会報告についての詳細は、H30.7.30 にメール配信いたしました「平成 30 年度都市計画検討グループ総会報告」をご参照ください。

※上記メール配信時に別途募集いたしました都市計画検討グループ総会におけるアンケート結果は次ページの通りです。

Ⅲ. 平成 30 年度 都市計画検討グループ総会アンケートについて

アンケート回答者数：27 名

Q1. 総会全体に対するご意見をお聞かせください。

【寄せられた意見】

①発表内容について

- ・今年度の活動について、ある程度の方向性を聞けるとよい。
- ・報告はもう少し簡潔でよい。
- ・活動報告等は、失敗談や困ったこと等をおり混ぜると聞く側の興味を引く。
- ・活動方針や予定は資料に記載されているので、省略でよい。
- ・事業報告はもう少し時間配分が短くてもよい。

②資料について

- ・合同意見交換会の各 WG での意見集約（配布資料 P11~13）について、内容の書きぶりを統一すべき。
- ・各 WG の活動は、都市計画委員会たよりでおおよそ把握しているため、総会の次第には入れなくてもよい。

③講演の時間の拡大

- ・講演の時間を増やすか、総会全体の時間短縮を行ってほしい。
- ・総会の時間をもう少し講演会の時間に回してもよいのではないか。

④その他

- ・講演のみを聴きに来る参加者が多く見られ、工夫の余地があるかもしれません。
- ・講演会から意見交換会（懇親会）までの時間が少し長い、時間が短ければ意見交換会に参加する人数も多くなる（開始時間を少し遅らせてみては）。

Q2. 基調講演に対する感想・ご意見をお聞かせください。

【寄せられた意見】

- ・乗りやすい公共交通にする工夫や降りても楽しくするアイデアやしかけについて、さらに具体的な紹介があるとよい。
- ・計画のスピード感が違う立地適正化計画と公共交通網形成計画を具体的にどのように連携させていくのか、この辺りの説明が少し分かりにくかった。
- ・講演当日の資料が、公表されましたら建コンとして会員の皆さんにもお伝えしていただきたい。

【講演内容に関する質問】

- ・公共交通だけでなく道路を含む交通ネットワークの将来像・目指すべき姿、役割分担等について、見解を伺いたい。
- ・市街地部は良いとして、その周辺や中山間地部においてはニーズがより細かくなり、ダイヤや行き先よりも、だれが中山間部の人を運ぶか、その仕組みづくりが必要と考える。「担い手確保」の新しい取り組みなども教えていただきたい。
- ・人口ビジョン・地方版総合戦略、立地適正化計画、地域公共交通網形成計画、公共施設等総合管理計画等、国から地方公共団体へまちづくりに係る計画の作成要請が続いているが、計画作成の順序付け等、全体としてどのようなプロセスで検討していくことが、効果・効率の面から望ましいのか伺いたい。
- ・市町村の枠を超えた網形成計画策定の取り組みはあるか。
- ・立地適正化計画と公共交通網形成計画が連動できるポテンシャルを秘めた市長村はいいが、このようなことが困難な市長村の立て直しはどのように進めるべきか。

来年度は、皆様から頂きました意見を参考に、より良い環境整備に努めてまいります。
講演内容に関する質問については、基調講演いただきました名古屋大学大学院加藤教授に提出済みです。（回答はまだいただけていません。すみません。。。）

平成 30 年度 業務技術発表会

10月3日にウインクあいちにて業務技術発表会が開催されました。業務技術部門では、都市計画分野として3編の発表がありました。

玉野総合コンサルタント(株)の都木雅也さんが最優秀賞を受賞されました（発表タイトル：岐阜県神戸町空家等対策計画策定）。おめでとうございます！（都市計画部門での最優秀は10数年ぶり？都市計画委員会の悲願達成です！）

来年度は、10月2日（水）ウインクあいちにて開催予定（4月から応募依頼開始）です。奮ってのご参加お待ちしております。また、来年度からは、従来の道路・河川・構造土質・都市計画部門に加え、左記に該当しない分野（調査、環境、情報等）の論文も募集します。今まで自分の専門分野がなく、発表をためらっていた会員の皆様、チャンスです！



▲最優秀賞を受賞された都木氏

都市整備WG

I. 開催日程等

日 時：平成 30 年 11 月 19 日（月） 15：00～17：00

場 所：（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部 会議室

テーマ：公共空間の有効活用と都市のマネジメント・維持管理のあり方

講 師：日本福祉大学 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科 教授 吉村輝彦 氏
（コンサルタント実務紹介）

- ・パブリックスペース利活用に関する業務事例紹介

大日本コンサルタント(株)中部支社 森田絃圭 氏

- ・新潟県見附市見附駅周辺の再整備と利活用に向けた取り組みについて

(株)国際開発コンサルタンツ東京支店 松下佳広 氏

- ・高山市における空き店舗の活用と観光活性化に向けた地域連携の取り組み

大日コンサルタント(株) 安江悠真 氏

参加者：30 名（14 社）

II. 活動概要

近年、まちづくりを進めていく上で住民参加の重要性は高まっており、計画時に参画するのみでなく、その後の運営段階においても地域自らが担い手となり、企画・実行し運営する仕組みをつくることが重要となっています。

本公演会では、名鉄太田川駅前広場の「まちなかピクニック」など、実験的な取り組みを実践されている日本福祉大学 吉村教授をお招きし、公共空間の有効活用と都市マネジメントの考え方や事例、手法について学びました。そこでは、社会情勢が急速に変化する昨今では、過去の成功事例があまり意味を持たず、計画づくりから始まる PDCA よりも、まず実験的な取り組みからスタートする D-CAP が大切という、計画段階で地域の方々とかかわることが多い建設コンサルタントとして考えさせられる話もありました。

その後、建設コンサルタントの実務紹介として、3名に登壇していただき、それぞれの取り組みについて狙いや工夫点など概要を説明していただきました。意見交換では、地域に入り込み、地元の方々と一緒に課題に取り組むことはもちろんですが、業務期間が限られるなかで、組織づくりを進め、いずれは地元の方に託す必要性など、コンサルタント業務としての難しさなどを学ぶことができました。



▲吉村氏による講演



▲コンサルタントからの実務紹介

交通WG

I. 開催日程等

日 時：平成30年12月4日（火） 15:00～17:00

場 所：（一社）建設コンサルタンツ協会中部支部 会議室

内 容：①全国「道の駅」連絡会アドバイザーとは

②「道の駅」のまちづくりと地域活性化

③「道の駅」をとりまく最近の動向

④これからの「道の駅」の役割と展望

講 師：全国「道の駅」連絡会アドバイザー 小山 源昭 氏

参加者：38名（20社）

II. 講習会内容

道の駅は現在全国に1,000箇所以上整備されており、基本的な機能である「休憩機能」をはじめ、「情報発信機能」「地域連携機能」のような多様な機能を担い、まちづくりの拠点ともなっております。本講習会は、道の駅の駅長を経験し、現在は「道の駅」アドバイザーとしてご活躍の小山源昭氏に講義をしていただきました。

講演会では、道の駅に関して、地域づくり、最近の動向、今後の展望等について、道の駅の現場サイドの目線からお話いただきました。道の駅は地域にたくさんあるお宝を表舞台に立たせ、地域を元気にする地域づくりという役割を重視されており、反対に中心市街地の商店街の顧客との競合もあるため中心市街地の活性化というまちづくりへは貢献しにくい面もあるとのことでした。

最近の道の駅の機能としては、休憩、情報、地域連携の他、観光案内、温泉、宿泊、体験、行政窓口、カルチャー等の集会など、本当に多機能に展開しており、管轄している国も基本機能以外は自由にやってくれというスタンスであるそうでした。また、道の駅での自動運転実験については、地域づくりの観点から見ると地域の元気を衰退させる動きではないかとの意見を述べられており、最新技術の導入についてもいろいろな検討が必要であることを考えさせられました。

懇親会では、講師の小山氏を囲み、道の駅に関する活動の話題についていろいろお聞きすることができました。



▲小山氏による講演



▲講演会の様子

ランドスケープWG

I. 開催日程等

日 時：平成30年11月1日（木）14:00～17:00

場 所：愛知県東海市大田町 太田川駅前どんでん広場、他

テーマ：具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ

講 師：名古屋造形大学・大学院 特任教授 岡田憲久 氏

参加者：34名（16社）

II. 活動概要

近年、公園緑地において多種多様なニーズが求められている中、名鉄太田川駅前どんでん広場は都市構造の変革と地域の活性化、地域文化の発信のため、駅前の市街地に緑を主とした広場と歩道を形成し、人々の交流やコミュニティ活性化の新しいにぎわいのステージとして利用されています。また、本広場はデザインが優れていることが高く評価され、第29回都市公園コンクールにおいて国土交通大臣賞を受賞されています。整備されてから数年が経過した広場を中心に、設計コンセプトをはじめ、こだわりのディテールなど、具体的な事例をとおして多くのことを学ぶため、講習会・見学会を実施しました。



▲解説付き公園見学会の様子

本講習会・見学会は「東海市 緑の軸をつくる」と題し、太田川駅周辺総合景観監修をされた名古屋造形大学・大学院 特任教授の岡田憲久氏をお迎えし、見学会では東西約1kmにもなる太田川駅前どんでん広場、遊歩道、大田公園等を岡田特任教授の解説付きで現地を歩きながら、ランドスケープデザインの考え方、ディテールの処理方法やデザインのこだわり、周辺施設との調和の考え方などを学びました。また、講習会では、どんでん広場だけでなく他の事例も含め、設計コンセプトに対応したデザインの取り入れ方、施工監修の重要性等を学ぶことができました。



▲講習会の様子



▲参加者の集合写真

■参考 1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）

【委員会全体の講習会・見学会】

- H24：見学会 近江八幡市一水郷巡り、八幡重要伝統的建造物群保存地区
- H25：講習会 「エリアマネジメント～街育での担い手はだれ？」
- H28：講習会 「人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅団地の再生」
「持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきか」

【都市整備 WG】

- H23：全体講習会 「事前復興計画のススメ…この国の明日を紡ぐ」
- H23：講習会 「名古屋港と産業防災」
- H24：見学会 「中心市街地の昨日・今日・明日」（愛知県東海市、半田市）
- H25：講習会 「リニア中央新幹線と名古屋」
- H25：見学会（交通 WG と合同）「公共交通を活用した地域活性化
及び歴史を活かしたまちづくり視察」（岐阜県恵那市）
- H26：講習会&見学会 「伊勢河崎のまちづくり」「三重県防災拠点」（三重県伊勢市）
- H27：講習会 「歴史的視点から見た集約型都市構造とは？」（PART1、2）
- H28：講習会&見学会 「縮小期のまちづくり（豊川稲荷表参道・御油のマツ並木）」
（愛知県豊川市豊川稲荷）
- H29：講習会&見学会 「錦二丁目まちづくり協議会」（愛知県名古屋市中区）

【交通 WG】

- H23：全体見学会「りんご並木が美しい丘の上のまち飯田」のまちづくりを体感
（長野県飯田市）
- H24：講習会 「自転車利用環境整備を考える」
- H25：見学会（都市整備 WG と合同）「公共交通を活用した地域活性化
及び歴史を活かしたまちづくり視察」（岐阜県恵那市）
- H26：見学会 「最新の安全対策技術情報及び施工事例について」（愛知県阿久比町）
- H27：講習会&見学会 「四日市市における交通環境の取り組みについて」
「東海道日永郷土資料館&あすなろう鉄道」（三重県四日市市）
- H28：講習会 「ビックデータの活用・可能性と展望」
- H29：講習会 「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」

【ランドスケープ WG】

- H23：見学会「土木学会デザイン賞受賞公園の設計コンセプトを学ぶ」（岐阜県各務原市）
- H24：全体講習会&見学会 滋賀県近江八幡市での講習会・見学会
- H24：見学会 H22 講習会講師による愛知県半田市の現地見学会
- H25：見学会 「あいちサトラボで里山づくり活動を学ぼう」（愛・地球博記念公園）
- H26：講習&見学会 「花フェスタ記念公園における指定管理者制度の現状と課題」
（岐阜県可児市）
- H27：講習&見学会 「公園における集客力を高める工夫を学ぶ」（愛知県刈谷市）
講習会 「全国都市緑化あいちフェアはどこまで造れたか」
- H28：講習&見学会 「官民連携による公園の集客力を高めた工夫を学ぶ
（梅小路公園）」（京都府京都市）
- H29：講習&見学会 「最新事例からランドスケープデザインを学ぶ」
（滋賀県草津市、近江八幡市）

■参考 2：H30 都市計画検討グループ会員及び各企画参加人数（会社数）

単位（会員：人、会社：社）

	平成 29 年度		平成 30 年度		増減（H30-29）	
	会員	会社	会員	会社	会員	会社
都市計画検討グループ会員	158	27	173	30	15	3
合同 WG	54	15	49	17	▲5	2
都市計画検討グループ総会	45	15	79	20	34	5
都市整備 WG	28	15	30	14	2	▲1
交通 WG	38	16	38	20	0	4
ランドスケープ WG	24	12	34	16	10	4
参加数（のべ）	189	—	230	—	41	—